

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課、旧嵯峨御所大本山 大覚寺、 公益財団法人 京都市埋蔵文化財研究所、朝陽山栴檀王院 無上法林寺





『源氏物語』五十四帖「夕顔」 大覚寺所蔵



「蒔絵硯」 京都市考古資料館所蔵



の心を魅了してやみません され、世界中で読まれる物語となりました。このように『源氏物語』の世界は まで伝わってきました。 ゆる「あそび」などを通して、 ることで視覚的に鑑賞され、 における宮廷貴族の生活が鮮やかに描かれています。 えて読み継がれてきました。 文字にとどまらず絵画の題材やあそびのなかにも取り入れられ、多くの 帖からなり は 多くの人々によって書き写され、 は平 安時代中 今日では、 日 また香道の組香や貝合せの画題にみられるいわ 貴顕から衆庶にいたるまで広く愛されて、 本を代表する古典文学であり、 物語では主人公の光源氏を中 ・期に紫式部によって書かれた長編物 現代語訳だけではなく様々な言語に翻訳 屏風やその他の絵画に表現され 平安時代に成立した『源 千年の時を超 平安時 語で、

氏物語

四

女性装束 「玉鬘」歳暮の衣配の場面 京都宮廷文化研究所所蔵

関連イベント

講演会

『源氏物語』をよむ・みる・あそぶ

葵、賢木の巻を中心に―

[講師] 家塚 智子氏(宇治市源氏物語ミュージアム館長)

10月26日 13:00 開場 13:30 開演 15:00 終了(予定)

江戸時代の『源氏物語』

戸の庶民は『源氏物語』をどのように読んだのか‐

[講師] 雲岡 梓氏(京都産業大学文化学部准教授)

11月23日 日初 13:00 開場 13:30 開演 15:00 終了(予定)

[場所] **むすびわざ館ホール**

[定員] 200名 (事前申込制・先着順)

オンライン同時配信[定員]90名(要申込)

参加費無料

臨地講演

方法

11月9日土 10:00~15:00(休憩1時間を含む) 源氏物語』字治十帖の地をめぐ [定員] **20名** [参加費] **1600円**(拝観·観覧料)

(無上

法林寺所蔵)、

合せなどの

「源氏

あそび

一蒔絵硯

|(高陽院跡出 香合せや貝 本展では、

室町時代や江戸時代の『源氏物語』

』写本や、

「源氏物語図屏風 」の品々を紹介

講演会

この機会に、

広がり続ける『源氏物語』の世界の一端に触れていただければ

紫式部の生きた時代の京都をしのびます

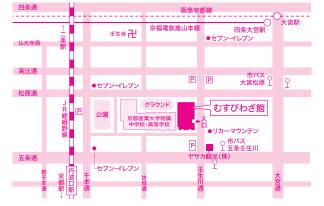
(仁和寺院家跡出土)などの



※休憩は各自となります。昼食の手配はいたしませんので、弁当持参または現地の飲食店などをご利用ください。

[申込み先] https://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/musubiwaza/ 申 [受付開始] 2024年10月10日(木) 11:00~

※京都産業大学ギャラリー公式Webサイトのインターネット申込みフォームよりお申込みください。申込み期間に関わらず、定員に達した時点で受付を終了します。 申込みの際にご提供いただきました個人情報は、講演会以外の目的では使用いたしません



【交通案内】

- ◎JR 丹波口…徒歩約7分
- ◎阪急 大宮…徒歩約11分
- ◎京福 四条大宮…徒歩約11分

※駐車場・駐輪場はございませんので、ご来館の際には公共交通機関をご利用ください。

【問合せ先】

京都産業大学むすびわざ館事務室

[TEL] 075-277-0254(平日9:00~16:30) [Webサイト]

https://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/musubiwaza/gallery/index.html



